

日本・世界の経済・財政

北海道大学法学研究科・公共政策大学院

「宮脇淳教授のニュースレター」

国と地方の財政・金融そして公共政策の面から研究。地域に足場を持ちながら今後の制度設計や地域経営のあり方等、国そして各地域の実践的課題に挑戦。

日本経済・生産性の低下①

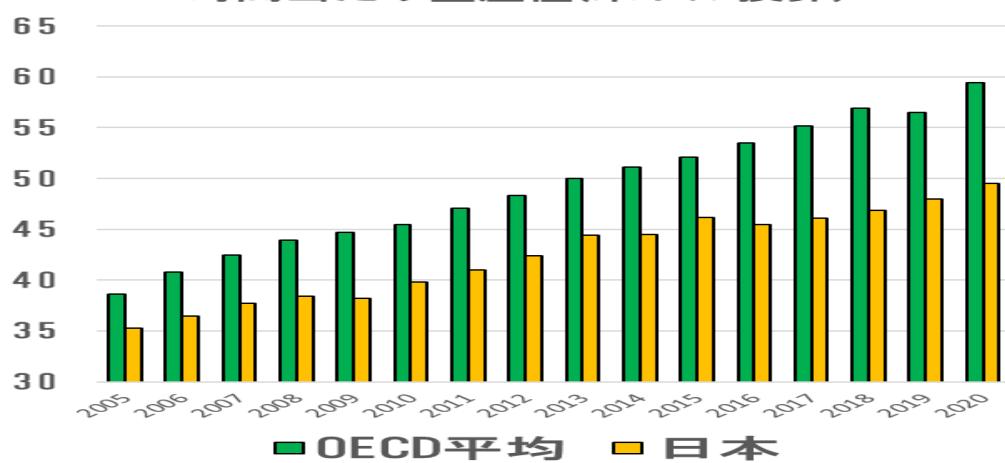
2023/1/10 第 883 号

朝日田コーポレーション

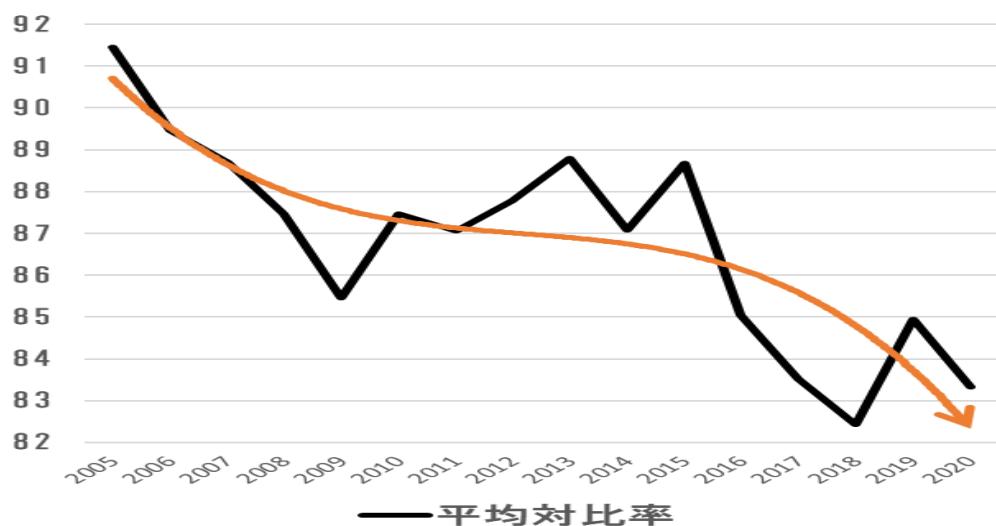
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:

時間当たり生産性(米ドル換算)



日本OECD平均対比率(%)



(資料)OECD 資料より作成。

2023 年の日本経済の大きな課題は、生産性の恒常的低下にある。経済の付加価値率(時間当たり生産性)を OECD(経済協力機構)のデータで見ると、2000 年以降低下傾向にあり加盟国平均を常に下回って推移し、2019 年 38 か国中 28 位となっている。付加価値とは商品・サービスの本来的価値に加え「 $+ \alpha$ 」の追加的価値であり、生産者から始まり消費者に至るまでの経済活動、その前提となる意思決定等に対して変革をもたらす要因である商品・サービスの本来価値やコスト削減にとどまるのではなく、経済活動に対して進化をもたらす新たな価値の創造を意味する。